

2025年5月28日

株式会社関西新幹線サービック

代表取締役社長 小松 修治 殿

J Rサービック労働組合

執行委員長 柳楽 関

新大阪第二事業所の介助業務及び、遺失業務における緊急申し入れ

新大阪第二事業所の介助、遺失業務は大阪・関西万博開催以降、新大阪駅乗降客が大幅に増加し、労働環境が大幅に悪化している。会社は、賃上げの団体交渉で「大阪・関西万博開幕に伴う輸送量について、利用客が増大するかは予測出来ない。」とし、組合が要求した万博手当について聞き入れなかった。

しかし、大阪・関西万博の開幕により、新大阪駅での乗降客数は最大時22万人を超え、1日平均で4万人増となっている。そのため、介助業務の案内件数はピーク時で135件にもなり、頻繁に超勤が発生する他、休憩時間変更も多発する事態となっている。

また、遺失業務では、深夜帯の超勤が多発することで、休憩・睡眠時間が削減される事態となっている。この事態によりマネージャー、スタッフを問わず社員の健康被害が危惧されることから夏季輸送までに早急な対策が必要であると考え。よって、下記の通り申し入れるので、早急に団体交渉を開催し誠意ある回答を行うこと。

記

1. 介助業務における徹夜要員をマネージャー、スタッフ各1名増配置すること。
2. 遺失業務におけるマネージャーを配置すること。
3. 万博手当を再考すること。

以 上